

報 告

IPCAS ワールドカップ2012

一年間総合優勝と総合2位 祝勝会

神奈川県総合リハビリテーションセンター 辻村 和見

1. はじめに

2012年5月19日新横浜にあるソシア21にてIPCAS ワールドカップ 年間総合優勝と総合2位の祝勝会が日本チェアスキー協会（主催）と日本障害者スキー連盟（共催）で行われた。

その祝勝会に参加したので、個人的感想を交えて報告をする。

障害者アルペンスキーワールドカップは、IPCAS (International Paralympic Committee Alpine Skiing) 公認レースの最高峰のレースである。

ワールドカップは毎年開催され、シーズンを通してのシリーズ戦として行われている。また、全戦終了時点で、種目別と全種目総合タイトルが決定する。そのほか、国別対抗のランキングもある。

2011/2012 シーズンは、1月25日にスタートし、ヨーロッパとのアメリカ・カナダの2地域4会場で全14戦の予定で開催された。

日本では2007/2008 シーズンに白馬八方尾根スキー場でファイナルが行われている。

2. 大会成績

総合優勝をした森井選手と総合2位となった鈴木選手のレース成績を表1で紹介をする。

森井選手は、14戦中4回も優勝をしている。また、両選手共に、初戦とファイナルに表彰台にほぼ上がっている。途中少し調子を落とした結果になっていたが、総合の優勝と2位の素晴らしい成績を残した。

国別ランキングは、8位であった。（昨シーズンの国別ランキングは7位）

表1 森井選手・鈴木選手のWC レース成績

日時・場所	種目	森井選手	鈴木選手
1/25-27 ITA	GS1	優勝	3位
	GS2	優勝	3位
	SL	5位	DF
1/31-2/2 ESP	SL1	6位	5位
	SL2	5位	優勝
	GS	2位	4位
3/6-6 USA	SG1	失格	5位
	SG2	優勝	8位
	GS1	4位	DF
	GS2	DF	DF
	SL	8位	3位
3/13-16 Finals CAN	SG1	2位	4位
	SG2	優勝	3位
	SC	2位	2位
総合		優勝	2位



写真提供：森井大輝

図1 総合優勝・総合2位の両選手

神奈川県総合リハビリテーションセンター
〒243-0121 神奈川県厚木市七沢 516

大会情報や結果、ルールなど IPCAS のホームページ（英語）で確認ができます。

URL : <http://www.ipc-alpineskiing.org/>

3. 祝勝会

2人のお祝いに、50名近い関係者が参加し、盛大に行われた。

発起人で、日本チェアスキー協会会長の四戸氏のあいさつで始まり、そして今回の主役である、森井選手と鈴木選手の紹介、アスペンチーム参加者の紹介があった。



図2 開会あいさつ

また、丸山監督や切久保、志度コーチによるワールドカップの総合優勝と準優勝に至る経過の説明や競技の動画を見ながら説明があった。

参加者は、日本チームの選手たちの滑りの映像と監督、コーチの解説で盛り上がった。



図3 クリスタルトロフィ リーダービブ メダル

そのあと、沖川氏による現在のチェアスキーに至るまでの開発や過去の大会の話もあり、参加者の中からは、懐かしいという声やおどろきの声が出るなど、開発当初の状況や環境の厳しさなどを知りながら、

現在世界の競技で多く使用されている日本製のチェアスキーの進化にふれることができたのではないかと思います。

4. 選手からの決意と抱負

日本障害者スキー連盟会長の伊佐氏から次の冬季パラリンピック開催地「ソチ（ロシア）」に向けての激励の後、森井選手、鈴木選手、狩野選手からこれからの決意と抱負を語ってもらった。

森井選手からの「この成績は僕一人で獲得した成績ではありません。今まで僕を支えてくださった全ての人の力が一つとなって獲得出来たと思っています。」など、参加者だけでなく、彼らに関わる全ての人に対する感謝と今後の決意に、感動しました。



図4 参加者と記念撮影

5. おわりに

この祝勝会は森井選手、鈴木選手をはじめ、多くのチェアスキーヤーとチェアスキーヤーたちを支えてきた人たちが、この成績を共に喜び、分かち合えた良い思い出になる会になったと思います。

私事となりますが、チェアスキーのメカニックとして関わらせていただいていることもあり、今回の成績に色々な方々と協力をして、少しでも力になれたことをうれしく思います。また、選手たちだけでなく、用具の分野でも世界をもっとリードしていけるよう、関わっていきたいと思います。

選手たちのさらなる上への挑戦に応援と期待をして、次のパラリンピックだけでなく、国内外問わず大会で、日本人選手が表彰台を独占することを信じ、楽しみにしたいと思います。

森井選手・鈴木選手 感動をありがとう。